



日韓／韓日対話 第7回企画 「教育の機会均等」を語り直す（その1）――（韓国）公州大学校名誉教授・崔浚烈氏の論考をもとにした対話――

渡部，昭男；崔，浚烈；西野，倫世；尾崎，公子；多胡，太佑；肥後，耕生

(Citation)

「教育の機会均等」を語り直す（その1）

(Issue Date)

2024-08-03

(Resource Type)

other

(Version)

Author's Original

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100491037>



主 催：渡部昭男（研究代表者）大阪信愛学院大学教授／元神戸大学教授
基盤研究(C)課題番号 19K02864（2019-21年度）・22K02702（2022-25年度）

日 程：2024年8月3日（土）（開場 12:45）13:00～16:30 予定

企画テーマ：日韓/韓日対話 第7回企画

「教育の機会均等」を語り直す(その1)

——(韓国)公州大学校名誉教授・崔浚烈氏の論考をもとにした対話——

趣 旨：

科研費研究の一環で蓄積した寄稿論考を共有財産として、2021年から日韓/韓日対話を継続している。その中の大きなテーマの一つが、「教育の機会均等」である。第1回「韓国における教育機会平等保障の主張と運動」（2022.7.3）において、キム・ソンヨル元韓国教育学会会長は韓国の教育福祉政策／事業に言及しながら「教育機会の実質的保障」「教育過程における不公正の解消」「教育結果の格差の縮小」という重要な視点を提示した（<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90009453>）。関連して、崔浚烈氏は下記の寄稿論考において、幼稚園から高校までについては「すべての園児・児童生徒が等しく恩恵を受けられるよう教育財政を支援して水平的公平性を達成した」「条件不利地域の児童生徒のために保障的平等を実現するよう財政支援を行った」が、一方高等教育については経済的基準以下の学生を対象にして「垂直的機会均等」策を採っていると指摘している。そこで改めて、日韓共同で「教育の機会均等」を語り直すこととしたい。

司 会：渡部 昭男（大阪信愛学院大学／元神戸大学）

次 第：

13:00～ 開会挨拶・趣旨説明：渡部 昭男

13:05～ 崔浚烈(チェ・ジュンヨル／CHOI, Joon Yul)氏（公州大学校名誉教授）

話題提供「教育行財政研究の立場から」

寄稿論考「教育財政が教育の機会均等に及ぼす影響」

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100478461>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100478460>

翻訳／通訳：肥後 耕生氏（豊岡短期大学准教授）

13:50～ 西野倫世(NISHINO, Michiyo)氏（大阪産業大学准教授）

話題提供「日米比較研究の立場から：現代米国における教育評価の動向」

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/141351829>

翻訳／通訳：多胡 太佑氏（北海道大学大学院生〔博士課程〕）

14:35～ 尾崎公子(OZAKI, Kimiko)氏（兵庫県立大学教授）

話題提供「日韓比較研究の立場から：韓国の教育エコシステムアプローチ」

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/read0194754?lang=ja>

翻訳／通訳：肥後 耕生氏

15:20～ 休 憩

15:30～ 総合討論 通訳：肥後 耕生氏、多胡 太佑氏

16:25～ 閉会挨拶：渡部 昭男

参加呼掛け：科研費で寄稿をお願いした両国の研究者による ZOOM 集会

（日本教育学会、日本教育行政学会、日本教育法学会、大学評価学会などに企画を案内）

照 会 先：渡部昭男 awtnb2188@gmail.com（参加無料／要事前登録）

事 前 登 録：申込書 <https://forms.gle/WoMhqmcAmgTUM2R99>

備 考：Kernel にアップしている論考をベースに意見交換する形で共同研究を深めたい。
科研費研究は広く一般に成果を還元することが求められており、当日資料と ZOOM 録画を神戸大学学術成果リポジトリ Kernel にアップし公開する。